

日本の書、中国の書

楷書

楷書

行書

行書

草書

草書

隸書

隸書

篆書

篆書

平仮名

ひらがな

片仮名

カタカナ

書道(和・漢)の歴史

A.D.220	←A.D. B.C.→	B.C.206	B.C.221	西暦
(三国時代) 呉 魏 蜀	(後漢) (前漢) 漢	秦	(春秋戦国時代) 周 殷 (夏・舜・堯)	中国
隷楷過渡時代 (楷書の元)  (愛) 魏・鐘繇 (淳化閣帖より)	隷書時代 章草 (草書の元) 後漢・張芝 (芝白帖より)  (愛)  (無)  (愛)  (無)	篆書時代 (始皇帝による文字の統一) 小篆  (愛)  (無)	甲骨文・金文 石鼓文 大篆  (馬)  (馬) 	書のスタイル・人物(書跡)

最新ニュース



【中国】寧夏で中国最古の岩画発見？

文字史塗り替える可能性

寧夏(ねいか)回族自治区・銀川(ぎんせん)市にある西北第二民族学院の岩画研究センターは、同自治区中衛大麦地の岩画群の中に、「中国最古の絵文字を発見した」と発表した。この絵文字は漢字の原型となった甲骨文字より数千年前のものとみられ、中国の文字史を塗り替える可能性がある。5日付で新華社が伝えた。

発見された絵文字は一万8000年から一万年前のものとみられ、太陽や月、神、狩りや踊りなどの様子を描写している。単なる絵のようにも見えるが、約1年間を費やして研究が進められ、上海古籍出版社の甲骨文字の専門家・劉景雲氏が「一定の秩序に従って配列されており、文字としての機能を有している」と判定した。この「中国最古の文字」は、同出版社「大麦地岩画」シリーズの第4巻に納められている。

2005年10月6日
(サーチナ・中国情報局) (共同通信)

A.D.589		A.D.280		西暦
隋		(六朝時代) 吳・東晉・宗・齊・梁・陳+北朝(北魏) 北魏 東晉		中国
智永 (王羲之七世の孫) 平章愛 才牙聖 (真草千字文)		楷行草書時代 謝安 320-385 王羲之 321-379 王獻之 344-388 鄭道昭 516 高貞碑 龍門造像記 馬 無 論經 愛(淳化閣帖) 愛(喪乱帖) 無 無 無(行書信札) 永和九年歲在癸丑暮春之初會 于會稽山陰之蘭亭脩禊事 也羣賢畢至少長咸集此地 有崇山峻嶺茂林脩竹清流激湍 映帶左右引以為流觴曲水列 坐其次雖無絲竹管絃之盛一 觴一詠亦足以暢敘幽情是日也 天朗氣清惠風和暢仰觀宇宙之大俯 察品類之盛所以遊目騁懷足以極 視聽之娛取之無盡 (蘭亭叙より)		書のスタイル・人物(書跡)
大和時代		参考 (日本の書) 漢字の変遷 へんせん 夏・殷・周 古文 篆書 秦 隸書 秦・漢 章草 後漢 草書 後漢 行書 後漢-六朝 楷書 後漢-六朝 平仮名 日本平安朝 片仮名		
日本		人物(書跡) 聖徳太子 574-622 大意是如 師之理使得 之号法即 之玄道也 (法華義疏)		

A.D.960		A.D.907	A.D.618	西暦
宋	五代	唐	中国	書のスタイル・人名・書跡
宋の四大家 ■蔡襄 1012-1067 泉州 (洛陽橋碑) ■蘇軾 (東坡) 1036-1101 破竈燒酒華那 (寒食詩) ■黃庭堅 (山谷) 1045-1105 筆意欲使東坡 (寒食帖より) ■米芾 (元章) 1051-1107 命予入由昭閣經深 (方圓庵記)		【楷書の完成期】 初唐の三大大家 ■虞世南 558-638 無 ■歐陽詢 551-641 無 ■褚遂良 596-658 無 王羲之の書を愛す皇帝 ■太宗 597-649 愛 (愛) 草書の大家 ■孫過庭 648-703頃 古詩一首 (書譜) 新旋風「顔法」 ■顔真卿 709-785 歸止愛開土門 (祭姪稿) 狂草体 ■懷素 725-785頃 自叙帖 (自叙帖)	書のスタイル・人名・書跡	
A.D.1191	A.D.794	A.D.710	西暦	
平安時代	奈良時代	日本	西暦	日本
日本三蹟 (和風の祖) ■小野道風 896-966 娘嫁 (玉泉帖) ■藤原佐里 944-998 力人 (圖申文状) ■藤原行成 972-1027 霞光曜後殿於火華色晴未暇以語 (関戸本和漢朗詠集)	光明皇后 701-760 樂毅論 (樂毅論より)	人名・書跡		

A.D.1911	A.D.1661	A.D.1367	A.D.1278	西暦
清	明	元	宋	中国
館閣体という、 官吏の保守的な書が流行る	元に続き、 晋・唐の伝統を維持	宋の書風を一掃、 晋・唐への復古期	宋の書風を一掃、 晋・唐への復古期	書のスタイル・人名・書跡
■趙之謙 1827-1884 讀書松桂林	■文徵明 1470-1559 因得佳紙 重録一通 四月初旦 徵明在玉	■張雨 1277-1348 閑居賦	■趙子昂 (孟頫) 1254-1322 閑居賦	
■何紹基 1799-1872 黃河謔恩茂秋高	■王鐸 1592-1652 行草に秀で自由奔放な書風			
■伊秉綬 (墨蘭) 1754-1815 秋高肱腐鳴	■張瑞図 1570-1642 行草に秀で自由奔放な書風			
A.D.1867	A.D.1603	A.D.1333	A.D.1192	西暦
江戸時代	室町桃山時代	鎌倉時代	日本	
和風と中国風が融和	鎌倉時代に引き続き 書道沈滞期	平安時代の華麗な 書風から力強いものに	和様の衰退	人名・書跡
■良寛 1757-1831 天上大風	■吉田兼好 1282-1350 諸悪莫作	■藤原定家 1162-1241 源氏物語・柏木		
■松花堂昭乗 1584-1639 月自画賛	■一休宗純 1394-1481 短冊	■栄西 1141-1215 看讀真詮		
■近衛信尹 1565-1614 色紙帖		■道元 1141-1215 大燈国師・看讀真詮		
■本阿弥光悦 1558-1637 四季草花下絵和歌巻		■大灯国師 榮西		
寛永の三筆				
和様(御家流)全盛				